



# 南房総のハズシ

## 令和5年度学力向上交流会を開催しました!

過日開催されました「令和5年度学力向上交流会」では、校務御多用の中、180名を超える先生方に御参加いただき誠にありがとうございました。本号では、交流会の様子や皆様からいただいたアンケートの集計結果についてお知らせいたします。

### 1 全体会の様子

#### 【所長挨拶】

千葉県教育庁南房総教育事務所 内田美之所長から、県施策や本交流会の趣旨についての話がありました。

本交流会を通じて「ちばっ子『学力向上』総合プラン」が目指す「子どもたちの学ぶ意欲の向上」と「教員の『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」への理解を一層深め、学校と市町教育委員会及び県教育委員会が一体となって、ちばっ子のさらなる学力向上を進めることが重要であるという内容の説明がされました。



#### 【検証協力校発表】※各校の研究主題

##### <木更津市立畑沢小学校>

研究主題：「進んで自分の考えを表現しようとする児童の育成～書く活動を取り入れた国語科指導の工夫～」

##### <市原市立五所小学校>

研究主題：「算数科における基礎・基本の確実な定着を図る指導の充実～わかる・できる喜びを実感し、自ら学び進んで考えを表現する子の育成を通して～」

##### <木更津市立木更津第一中学校>

研究主題：「自己の考えを深め、表現できる生徒の育成～工夫した学級集団づくりや授業づくりを通して～」

##### <富津市立富津中学校>

研究主題：「数学的な表現力の育成～思考を深める話し合い活動の工夫、数学レポートの作成を通して～」

各校とも全国学力・学習状況調査をはじめとした各種データを基に、自校の学力を分析し、研究主題にあるめざす子どもの育成に向け、様々な手立てを講じ、取り組んでいました。取組における成果と課題も分かりやすくまとめてあり、学力向上検証において、よいモデルとなりました。御協力ありがとうございました。

## 令和5年度 南房総教育事務所 学力向上の重点

「目標・課題」の明確化と

「まとめ・振り返り」の時間の確保

- ・どんな力を身に付けさせたいか  
ゴールの姿を想定して目標・課題を明確にする
- ・目標は達成できたか、課題は解決できたか  
振り返りの時間を確保する
- ・「自分なりのまとめ」と「理想のまとめ」の  
両方をノートに記述する

千葉県の授業改善キーワード

「自分の言葉で学習のまとめを書く」

MINAMIBOUSOU Education Office

千葉県教育庁南房総教育事務所 安房分室 加藤貴之指導主事から「令和5年度全国学力・学習状況調査」結果から見る管内の学力の現状について説明がありました。全国や県の傾向から考察したことを基に南房総教育事務所の学力向上の重点について、キーワードが提示されました。教員が授業の前にできることや「振り返り」時間の中で、授業者、児童生徒が具体的にどんな姿であればよいのか等について、具体的な説明がありました。

「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を活用して授業力向上のPDCAサイクルを確立しましょう！授業改善のための「セルフチェックシート」は単元等の指導計画作成時にチェックを入れて利用します。  
「授業づくりシート」は授業の振り返りで利用します！



## 2 分科会の様子

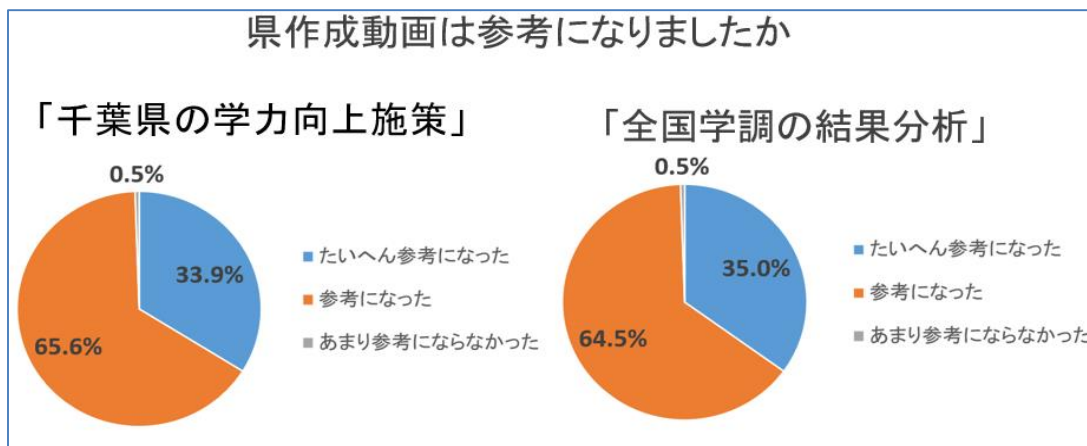


分科会は、5つのテーマで8つのグループに分かれ行われました。各グループとも参加校による実践紹介や情報交換等が活発に行われていました。参加者の中には、他校の取組と自校の取組を比べこれまでの取組に対する成果を改めて実感したり、自校の学力向上に向けて新たな課題を発見し次年度の研究主題のヒントを見いだしたりと「主体的・対話的で深い学び」が行われていました。

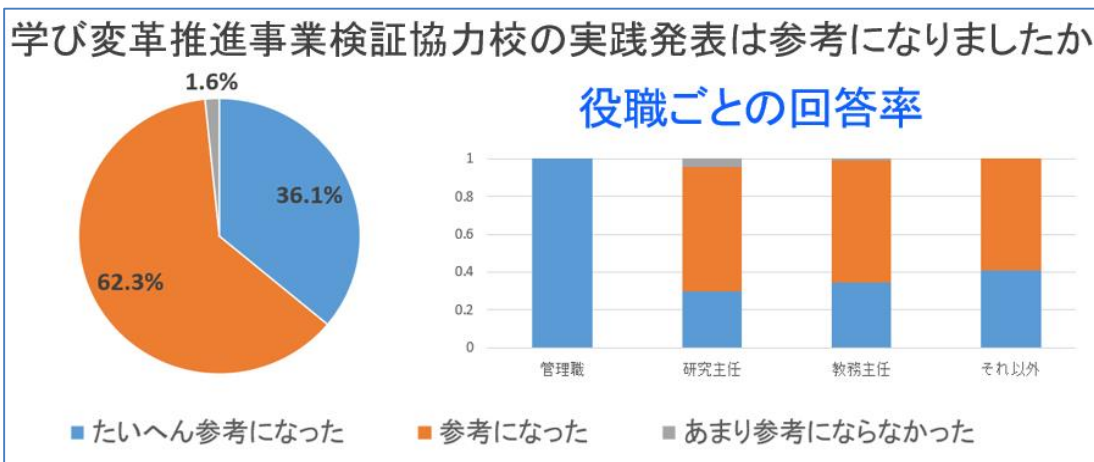
※5つのテーマについては次ページ参照

|      |   |
|------|---|
| テーマ1 | 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを活用した授業改善 |
| テーマ2 | 目標・課題の明確化とまとめ・振り返りの工夫                                   |
| テーマ3 | 全国学力・学習状況調査を活用した取組                                      |
| テーマ4 | ICT機器の効果的な活用  |
| テーマ5 | 基礎・基本の定着（ちばっ子チャレンジ100・ちばのやる気学習ガイドの活用、MEXCBTの活用含む）       |

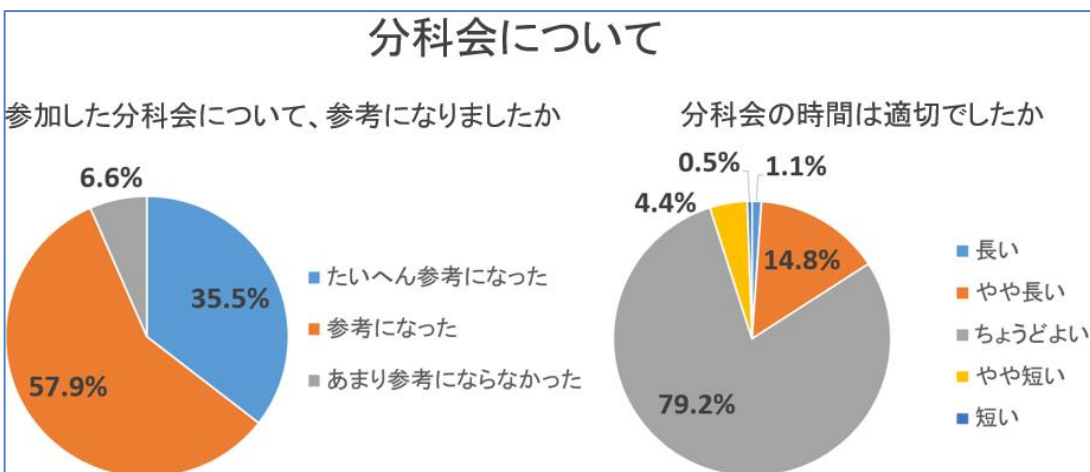
### 3 参加者アンケートの集計結果



99.5%が肯定的な回答



管理職の参加者は全員が「たいへん参考になった」と回答



肯定的な回答が9割以上、時間についても8割が適当であると回答



## 【分科会に対する御意見】

〔テーマ1；「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを活用した授業改善〕

- ・振り返りの仕方について、他校の実践で取り入れたいものがあったり、他校も実践していると安心感がもてたりしたので、様々な実践が聞けてよかった。
- ・コグトレという手軽に認知機能を高めるサイトがあることが分かり、実践してみようと考えた。
- ・問いづくりの工夫、対話の在り方、若手教員への指導、振り返りの在り方、単元のゴールの示し方など、様々な視点で話を聞くことができ、大変参考になった。今後、本校が「思考し、表現する力」を高める上で、どのように実践の工夫を積み重ねていけばよいか、その道筋へのヒントをもらうことができた。

〔テーマ2；目標・課題の明確化とまとめ・振り返りの工夫〕

- ・研究を手探りで進めているところでしたが、他校の意見を聞いて、同じように課題を抱え、取り組んでいることが分かった。職員に還元して、さらに子供たちの力が高まるように日々指導していきたい。自信を持ち積み重ねていくように若年層にもしっかり伝えたいと感じた。
- ・自分と同じような実践をしている先生もいたので、自信のようなものにつながった。
- ・分科会で、意見をいただいた学校と同じような取組をしていることが確認できた。「自分の言葉でまとめを書く」ことについて、その前の段階での語彙力（キーワード）の問題は本校も共通のテーマだと感じた。

〔テーマ3；全国学力・学習状況調査を活用した取組〕

- ・1年生からの継続した取り組みが6年生の全国学調の結果につながっていることを痛感した。
- ・全国学調の結果を基に、各教科の結果と質問紙調査の回答内容との関連性について、分析を進めていく取り組みが参考になった。
- ・各校において工夫している点や取組が向上している学校は、全職員が自分事としてとらえ、授業改善を行っている点が参考になった。

〔テーマ4；ICT機器の効果的な活用〕

- ・授業＝タブレットではなく、効果的に使う、なぜ使うのか、どの場面で使うのかを明確にしていくことが大事だと感じた。
- ・市町によって使用している機器が違っていること。しかし活用しようとする場面や方法、課題として挙がっていることは似ていることが分かった。各校の取組を知る機会となり大変参考になった。県の情報化推進計画を参考に市と歩調を合わせながら整えていきたい。
- ・ICT機器の活用は、どの学校でも課題になっているのだなと感じた。県の学校教育情報化推進計画をしっかりと読み直し、勤務校の取組みに活かしたいと思った。

〔テーマ5；基礎・基本の定着（ちばっ子チャレンジ100・ちばのやる気学習ガイドの活用、MEXCBTの活用含む）〕

- ・ちばっ子チャレンジ100がMEXCBTに対応していることを初めて知った。具体的な導入の仕方をもっと知りたい。
- ・働き方改革に逆行しないよう、家庭・地域連携や時間の有効活用等について、校内研修をとおり次年度の方向性を検討していきたい。
- ・実際ちばっ子チャレンジ100やちばのやる気学習ガイドを効果的に活用できている学校は少ないことがわかった。しかし、朝の会帰りの会の時間活用、放課後の時間を活用して学力向上に取り組み、効果をあげている学校があることを改めて確認できたので、時間を生み出し学習補習時間の確保をしていこうと思った。また、ちばのやる気ガイド等を有効活用できるようにしたいと思った。